

分野：⑬SDGs

## (生物と地球環境)

環境アドバイザー

神山 裕則

対象

川口市立戸塚南小学校6年生(148人)

所要時間



2時間

場所

アリーナ

実施時期

令和3年3月9日

## 概要

SDGsについて

ボルネオと日本との関係(森林伐採・パームヤシ油など)

プログラムの

SDGsの狙い

ねらい

世界の地域と、日本人は、つながっていることを知る。

そして、できる活動を考えて、行動する。

## プログラムの内容

## 1. 導入

SDGsのことについて、大まかに知る。

ラオスの子どもの話(貧困・飢餓・教育など)

## 2. ボルネオと日本の関係

森林伐採・焼き畑農業・異常気象

パームヤシ畑・

私たちとの関係 木を輸入(オリンピック関連・

コンビニの商品の半分以上に、パームヤシ油が入っていること。植物油としか書かれていない)

私が、していること

ラオスに、文具を届ける活動

ボルネオの土地を買って、植林活動の手助け

## 3. まとめ

自分ができること。→ 親に話す。友達と話す。エコな生活を送る。



## 受講者の反応

SDGsの授業を受けた子達だったので、ラオスの子どもの話がわかりやすかったようだ。

このところの、異常気象のことに質問が来ました。ボルネオの雨期のことを知り、驚いていた。